



# 学校だより

学校教育目標

夢をもち たくましく 挑戦する 児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校  
第26号  
令和5年11月2日発行  
文責 校長 淵上 純

## 10/25(水) スピーチタイム



【スピーチタイムの様子】

10/25(水)朝、図書室でスピーチタイムを行いました。担当は2年生女児でした。今回は、「大人になってしたいこと」というタイトルのスピーチでした。

波月さんのしたいことは、「ねこやハムスターを飼いたい。」でした。また、「かわいいねこや口いっぱい食べ物で頬張るハムスターを見てみたい。」という理由を、相手を見ながらはっきりと大きな声で発表することができました。

その後、5年生男児の司会で、発表に対する感想や自分の「大人になってしたいこと」をそれぞれ発表しました。最後に、上田先生から講評があり、今回は一人ひとりが発表の約束を守り、メリハリの利いた素晴らしいスピーチタイムだったと褒めていただきました。校長先生も様子を見ながら同じように感じていました。次のスピーチタイムも楽しみにしています。

## 10/25(水) ゆうき会

10/25(水)放課後は「ゆうき会」で、11月の目標決めと11/1(水)に行われるマラソン大会とゲートボール交流会についての話し合いでした。

11月の目標は、朝晩が冷えてきましたので、「さむさたいさくをしよう！」になりました。次に、マラソン大会とゲートボール交流会の役割分担を行い、積極的に手を挙げて役割を引き受け、スムーズに決まりました。

かぜをひかないように健康管理をしっかり行い、マラソン大会とゲートボール交流会を楽しんでほしいと思います。



【ゆうき会の様子】

## 10/26(木) ほんわかタイム



10/26(木)朝の集会で「ほんわかタイム」があり、今回の担当は、9月に加唐小に来られた清水先生でした。

加唐小では英語を担当していただいています。清水先生は、もともとは英語が苦手だったそうです。しかし、英語を勉強して海外に行き、外国の方々とコミュニケーションをとる中で、一生



【マダガスカル島(アフリカの東)】



【ジャージー島】

懸命に心を込めて話していくと会話が通じていくということを学んだそうです。

学び続けることの大切さを「マダガスカル島」や「ジャージー島」に行かれた時の写真を見せながら、ことも達にお話をさせていただきました。

子どもたちも清水先生のように、苦手な事でも学び続ける姿勢を持ってほしいと思います。

### 10/26(木) 安納(あんのう)芋掘り



10/26(木)5, 6 時間目は、学級菜園の安納芋掘りでした。これは、用務員の西山さんが、精魂込めてつくっていただいた安納芋です。6月頃から、子どもたちのために、畑を耕し、草を取り、種芋を植えて育てていただいていた。

この日は天候もよく絶好の芋掘り日和となり、子ども

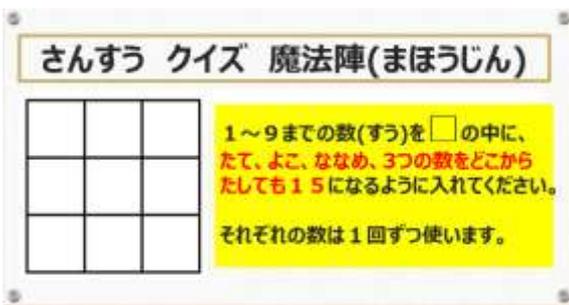
たちは、大喜びでバケツいっぱいのお芋を掘ることができました。

翌日、子どもたちから西山さんに感謝のメッセージを書いた広用紙を送りました。西山さん本当にありがとうございました。



【西山さんへのお礼メッセージ】

### 11/2(木) 集会⑥ 校長先生のお話



11/2(木)朝の集会は校長先生のお話でした。今回は、子どもたちに算数のクイズに挑戦してもらいました。

「1～9までの数を1回ずつ使い、□の中に、たて、よこ、ななめ、3つの数をどこから足しても15になるように入れてください。」という問題でした。いわゆる「魔法陣」と呼ばれるものです。簡単

な足し算ですが、どこから足しても15になるという所が難しく、試行錯誤する必要があります。時間内には難しいかなと思いましたが、5年生男児があっという間に解き驚きました。

また、「1～16の魔法陣」の解答を用意して、本当に、どこからたしても同じ数になるか確かめてもらいました。子どもたちの計算では、どうやら、「1～16の魔法陣」は、どこから足しても「34」になるようでした。このような問題に興味や関心をもち、算数の面白さを分かってもらえたらと思います。

■ スマホ等で右のQRコードを読みとっていただくか、下記のアドレスを入力していただくと加唐小中学校 HP をご覧になることができます。

■ <https://www.education.saga.jp/hp/kakara-j/>

